２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額(※)	時　価（※）	差　額（※）
⑴　現金及び預金	723,990	723,990	—
⑵　未収学生納付金収入	10,434	10,434	—
⑶　未収入金	65,103	65,103	—
⑷　預り金	(47,407)	(47,407)	—
⑸　未払金	(642,253)	(642,253)	—

（※）負債に計上されているものについては、（　）書きで示しています。

㈱　金融商品の時価算定方法

⑴　現金及び預金、⑵　未収学生納付金収入、⑶　未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

⑷　預り金、⑸　未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

（賃貸等不動産関係）

当法人は山屋敷地区（大学敷地内）に学生宿舎を有しております。これらの賃貸等不動産の貸借対照表計上額、当期増減額及び時価は次のとおりであります。

（単位：千円）

貸借対照表計上額			当期末の時価
前期末残高	当期増減額	当期末残高	
800,139	△　7,593	792,546	724,937

㈱１．貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。

２．当期増減額のうち、主な増減額は次のとおりであります。

取得等による増加　47,045千円

減価償却費等の計上による減少　54,638千円

３．当期末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて当法人で算出した金額（指標等を用いて調整を行なったものを含む。）であります。

また、賃貸等不動産に関する平成26年３月期における収益及び費用等の状況は次の通りであります。

（単位：千円）

賃貸収益	賃貸費用	その他（売却損益等）
43,065	241,863 (44,790)	—

㈱　「賃貸費用」には損益外減価償却相当額が含まれています。（　）書きは損益外減価償却相当額で内数です。

（資産除去債務関係）

⑴　資産除去債務の概要

石綿障害予防規則等の規定に基づく建物のアスベスト除去義務であります。

⑵　資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から24年～27年と見積もり、割引率は、2.2％を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

⑶　当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高	33,861千円
時の経過による調整額	758千円
期末残高	34,620千円

（重要な債務負担行為）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

附　属　明　細　書

当事業年度の附属明細書は、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針（平成24年３月30日　最終改訂　文部科学省　日本公認会計士協会）の様式に基づき作成しています。

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	7,261,064	60,550	3,810	7,317,804	2,957,132	241,713	—	—	—	4,360,672	
	構築物	760,661	5,707	7,913	758,455	551,410	23,504	—	—	—	207,044	
	工具器具備品	277,532	—	—	277,532	214,413	40,531	—	—	—	63,118	
	船舶	30	—	—	30	30	—	—	—	—	0	
	計	8,299,288	66,258	11,724	8,353,822	3,722,987	305,749	—	—	—	4,630,835	